

果樹カメムシ類の被害果が広域で発生しています！

成虫がみられた場合は速やかに防除を行いましょう！

1 作物名 りんご、なし

2 発生現況

(1)りんごにおける7月下旬の巡回調査の結果、被害果率はほぼ平年並であったが、発生地点率は21.4%(平年8.9%)で、過去10か年で最も高かった。(図1)

(2)なしでは、7月中旬の巡回調査と同様に、7月下旬の巡回調査でも被害果が確認された。被害果率はほぼ平年並であったが、発生地点率は20.0%(平年3.6%)で、過去10か年で最も高かった。(図1)

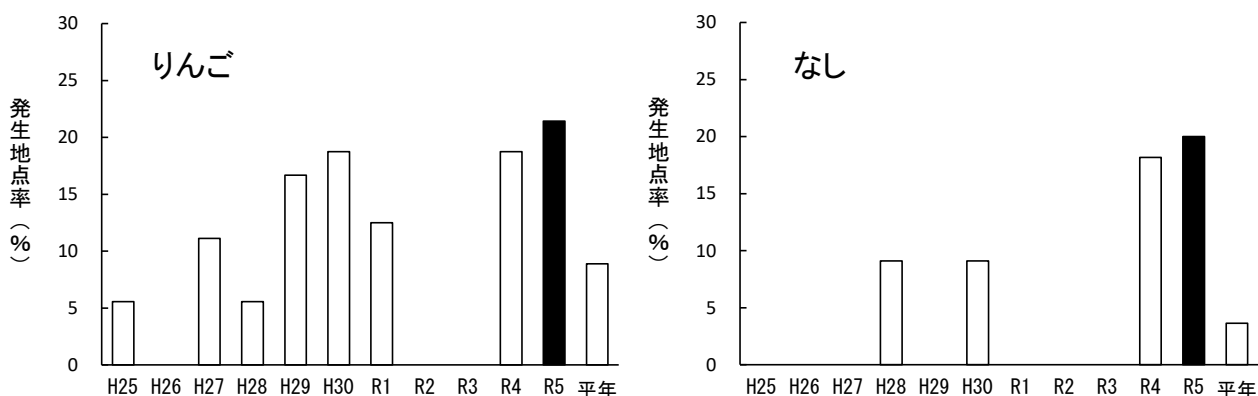


図1 果樹カメムシ類による被害果の発生地点率

※(左):りんご、(右):なし

(病害虫防除所 7月下旬調査(平年:10か年平均))



クサギカメムシ チャバネアオカメムシ

写真1 県内における主要果樹カメムシ類

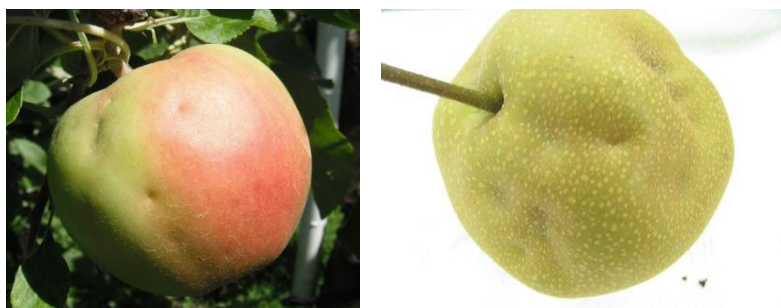


写真2 果樹カメムシ類による被害果
(左)りんご、(右)なし

2 防除のポイント

- (1) 果樹カメムシ類の活動には高温が好適である。向こう1か月は平均気温が高いと予報されており、今後の発生が多くなると予想される。ほ場をこまめに見回り、成虫がみられた場合は速やかに薬剤防除を行う。
- (2) 果樹カメムシ類は、りんごやなし以外の果実も加害するので注意する。
- (3) 山林、特にスギやヒノキ林に近接するほ場では、被害を受けやすいので注意する。
- (4) 薬剤散布は、果樹カメムシ類の活動が鈍い早朝に行うと効果的である。
- (5) 有袋栽培では、果実の肥大によって袋に密着すると袋の上から吸汁されることがあるので注意する。
- (6) 品種による収穫期の早晩を考慮し、収穫前日数に注意して薬剤を選定する。
- (7) 薬剤については、『宮城県農作物病害虫・雑草防除指針』を参考に選定する(表1、2)。
<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/miyagi>

表1 りんごのカメムシ類対象の主な薬剤

IRACコード	薬剤名
1B	スミチオン水和剤40
2B	キラップフロアブル
3A	テルスターフロアブル
4A	アクタラ顆粒水溶剤、アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤、ダントツ水溶剤 モスピラン顆粒水溶剤

表2 なしのカメムシ類対象の主な薬剤

IRACコード	薬剤名
1B	スミチオン水和剤40
3A	サイハロン水和剤
4A	アドマイヤー水和剤、アドマイヤー顆粒水和剤 モスピラン顆粒水溶剤
28	テッパン液剤

※『宮城県農作物病害虫・雑草防除指針』に記載されている薬剤より
 ※令和5年8月2日現在の登録内容

農薬危害防止運動実施中！(6月1日～8月31日まで)



農薬危害防止運動

《お問い合わせ先》

宮城県病害虫防除所

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17

TEL:022-275-8982 FAX:022-276-0429

E-mail: byogai@pref.miyagi.lg.jp

★宮城県病害虫防除所から『メルマガ』で
 発生予察情報の発表をお知らせしています★



宮城県病害虫防除所
 トップページ



メルマガ
 登録フォーム